

産婦人科

<指導医> 五味淵 秀人、勢多 真理子(指導責任者)、山田 陽子、上原 ゆり子、大野 珠美、岡田 朋美

<期間> 選択可能

<指導体制> 診療責任者(指導医)のもと、指導医とともに診療にあたる。

<一般目標>

初期臨床研修医師は、信頼される臨床医となるために、産婦人科診療の基礎を理解し、産婦人科領域の基礎的臨床能力を身につける。

<行動目標>

- ① 正常妊娠を理解し、異常を的確に区別できる
- ② 正常分娩を理解し、異常を迅速に区別できる
- ③ 指導医と共に異常分娩の管理ができる
- ④ 婦人科疾患の手術適応を理解し、手術の介助が適切におこなえる
- ⑤ 妊婦への薬剤投与を適切に行うことができる
- ⑥ 性感染症を理解し、適切なコンサルテーションができる
- ⑦ 産婦人科医に相談すべき疾患と病態を理解できる



<研修内容>

- ① 以下の疾患を外来診療または受け持ち患者で自ら経験する

正常妊娠	流産	早産	正常分娩
産科出血	乳腺炎	産褥	

- ② 以下の疾患を経験する

	月	火	水	木	金	土
午前	外来	外来、病棟	外来、病棟	手術	手術	外来、病棟
午後	外来	外来、病棟	手術	手術	手術	病棟
夕	病棟	カンファ	病棟	カンファ	病棟	病棟

・無月経 ・思春期・更年期障害 ・外陰・膣・骨盤内感染症 ・骨盤内腫瘍

<週間スケジュール>

- ・当直は週1回、時間外も含め分娩に関しては、なるべく経験してもらいたい。
- ・週1回カンファに参加する。(火曜あるいは木曜)

<評価>

- ① 各科研修終了時に指導医がオンライン卒後臨床研修評価システム(EPOC)に入力する。
- ② 各科研修終了時に看護部が「看護部評価表」に記載する。